

令和6年9月27日（金）

第9回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和6年9月27日(金) 午前10時00分
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 蒲田 知子  
委員 村松 弘康 委員 新山 訓代  
委員 中村 通宏
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員  
教育総務部長 山田 和夫 生涯学習部長 菊地 統  
生涯学習部次長兼文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎  
生涯学習部参事兼鳥の博物館長 森田 康宏  
総務課長 高橋 純 学校教育課長 中野 直美  
教育相談センター所長 遠藤 美香  
指導課長兼小中一貫推進室長 森谷 朋子  
少年センター長 川本 将多 生涯学習課長 斉藤 幸弘  
図書館長 中山 千草 学校教育課主幹 齊藤 優
6. 欠席事務局職員 な し

午前10時00分開会

○丸教育長 ただいまから令和6年第9回定例教育委員会を開会いたします。

---

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。新山委員にお願いします。

---

議案第1号

○丸教育長 日程第2、議案の審査を行います。

議案第1号、我孫子市五本松運動広場整備事業者選定委員会規則の制定について、事務局から説明をお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 議案第1号、我孫子市五本松運動広場整備事業者選定委員会規則の制定についてです。

提案理由は、我孫子市附属機関設置条例第4条の規定に基づき、我孫子市五本松運動広場整備事業者選定委員会規則を制定するため、提案するものです。

趣旨は、現在、整備を進めている我孫子市五本松運動広場整備に関わる事業者選定委員会の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものです。第2条、委員に関しては、学識経験を有する者2名、市職員3名の5名からなります。

第2条の2、委員は、委員会が調査審議を終了したときは、解職され、又は解任されるものとする、とされており、これは令和6年度中を予定しています。

第3条、委員会に委員の互選により、委員長及び副委員長を置くこと、それから第5条、委員会の庶務は、生涯学習部文化・スポーツ課において処理するものいたします。3ページ、この規則は、この公布の日から施行する予定です。

○丸教育長 ありがとうございました。

以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑があれば挙手を

お願いします。——よろしいですか。

第2条、学識経験を有する者2名、市職員3名となっていますが、具体的にもう少し言えますか。

○辻文化・スポーツ課長 学識経験者2名は、現在、千葉大学それから東京都市大学で社会基盤整備、都市計画を研究されている先生方に委嘱する予定で進めているところです。また、市職員3名については、生涯学習部長、都市部長、建設部長を予定しています。

○丸教育長 ありがとうございます。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決いたします。

議案第1号、我孫子市五本松運動広場整備事業者選定委員会規則の制定について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

---

## 諸 報 告

○丸教育長 日程第3、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明や追加する事項が4点ありますので、まず初めにそちらから説明いたします。

1点目、「ブカツ未来アクションin我孫子」について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 「ブカツ未来アクションin我孫子 マルチスポーツが導く新しい部活の世界！」ということで、どんな競技にも活きるマルチスポーツ、それから陸上・ラグビーなどの実技指導、スポーツに関する座学、こ

の3つから成り立っているイベントになります。

期日については、初回は10月5日（土曜日）、2回目以降は、10月20日（日曜日）、11月10日（日曜日）、11月24日（日曜日）、12月8日（日曜日）になります。場所は、NEC我孫子事業場ラグビーグラウンドを利用します。

主催は文化・スポーツ課ですが、共催として、日本電気株式会社、株式会社明治アドエージェンシー、一般社団法人CORD PROJECT、株式会社ヤマダホールディングスの協力を得て進めます。

対象としては、我孫子市在住・在学の小学校5、6年生及び中学校1、2年生ですが、座学については、保護者や指導者も参加が可能となっています。

講師ですが、実技では、ラグビーはNECグリーンロケッツ東葛のラグビーチーム、陸上はヤマダホールディングス陸上競技部、バレーボールはNECレッドロケッツ川崎の皆様の協力を得て実施します。また、スポーツメンタルトレーニングとして、一般社団法人フィールドフローの皆様を予定しています。それから、マルチスポーツの意義ということで、種目に限らず、体を使う様々なことが、今後の体作り・スポーツには大切だということで、大山高さんの講義を受けることができます。こちらの事業については、中央学院大学の大学生もあらかじめ研修を受け、当日、指導のアシスタントとして参加する予定です。参加料は無料です。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等ありましたらお願いします。

このイベントは、管内の他の5市でもやっているのですか。

○辻文化・スポーツ課 日本各地でというわけではないのですが、他でも実施しており、NECが我孫子に事業場をもっていることで、今回ご縁をいただきまして、このお話を受けました。こういったトップアスリートからの指導を受

ける機会は少ないため、今後、部活動の地域移行も見据えて企業連携・地域連携の方を進めていきたいと考えています。

○丸教育長 ありがとうございます。よろしいですか。

それでは続きまして、市民文化祭の日程について、辻文化・スポーツ課長、お願いいたします。

○辻文化・スポーツ課長 第67回我孫子市民文化祭総合プログラムにあるように、期間は、9月25日から11月24日となっています。直近ではオープニングイベントとして、9月29日にセレモニーをけやきプラザホールで実施いたします。それからもう既に始まっているのですが、9月25日から10月6日まで、けやきプラザホールの入口にて、書道、短歌、俳句、絵画の展示を行っています。

会場は、あびこ市民プラザ、つくし野コミュニティホール、けやきプラザ、アビスタ、コホミンを利用しています。市民文化団体の共同事業なので、広く周知しながらイベントを開催していきたいと考えています。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等あればお願いいたします。——よろしいですか。

今回オープニングセレモニーでの発表が多くなりましたね。これは何か理由があるのですか。

○辻文化・スポーツ課長 オープニングセレモニーは、今回で3回目となります。今までの文化祭は、大体9月末から12月上旬ぐらいまでの期間、それぞれの会場で実施していましたが、始まりを大切にしたいということで、オープニングセレモニーを始めることにしました。最初は特別な演目等を用意して参加するという点に関して、市民文化団体の方々も腰が重かったようですが、かなり多くの方に見ていただいたことが励みになったようで、今後もぜひやりたいという要望があり、多くの団体に参加していただけるようになりました。

今後この流れを続けていきたいと考えています。

○丸教育長 良いことですね。またぜひ時間があれば来てください。

それでは続きまして、「鈴木大輔さんから学ぶラジオ体操について」、斉藤生涯学習課長、お願いいたします。

○斉藤生涯学習課長 生涯学習課では、大学や企業と連携して、生涯学習推進事業を実施しています。今回その一つとして、いつでもどこでも誰でも取り組み、健康作りに効果があるラジオ体操講座を10月26日、中央学院大学で実施します。昨年度は小学校の体育館で実施しましたが、今回は中央学院大学の大学祭と合わせて実施いたします。

講師には、NHKのテレビラジオ体操でお馴染みの鈴木大輔さんとアシスタントの原川愛さんをお迎えしてラジオ体操を学びます。

定員150人になっていますが、現在、既に150人以上の方から申し込みを受けています。体育館が大きいので、抽選にはせず、皆さん参加できるようにしたいと考えています。委員の皆様もお時間ありましたら、ご参加いただければと思います。

こういった事業を通して、市内の学校企業と連携を深めて、地域のネットワークを活用した事業を実施していきたいと思います。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等あればお願いいたします。——よろしいですか。

昨年度、湖北小学校の体育館で実施したときも満員でしたよね。よく少子高齢化といいますが、元気な高齢者が増えたら良いなと思います。ぜひ皆さん参加していただけると嬉しいです。

続きまして最後になりますが、「よむよむラリーについて」、中山図書館長 お願いいたします。

○中山図書館長 図書館では、10月27日の文字活字文化の日にちなんだ読

書活動の一環として、小学生以下の子どもを対象とした読書のスタンプラリーを実施しています。

期間中に10冊読み終えて、図書館にスタンプラリー専用の用紙を持参すると、その用紙をパウチして記念品としてプレゼントしています。

PR方法としては、市内小学校へ全児童分、特別支援学校小学部児童分を配付し、本に親しむ機会にしていきたいと思っています。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等あればお願いいたします。——よろしいですか。

それでは、これより事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 事務報告9ページ、令和7年我孫子市二十歳成人式の企画運営会議とありますが、今まで2部制だったものが、コロナウイルス感染症が拡大した影響で4部制となっていました。今は感染症も落ち着いてきたため、来年は何部制で実施するのか、開催時間がどのくらいなのかを教えてください。

○斉藤生涯学習課長 今年度も昨年度と同じように3部制で実施します。日程は来年の1月12日です。

第1部は、我孫子中学校区と湖北台中学校区になります。受付は10時から、式典は、昨年まで30分間で実施したのですが、40分間に変更し、10時30分から11時10分になります。第2部は、白山中学校区と布佐中学校区と我孫子特別支援学校の卒業生です。受付が12時から、式典は12時半から13時10分までになります。第3部は、久寺家中学校区と湖北中学校区になります。受付が14時から、式典は14時半から15時10分までになります。

○丸教育長 ほかによろしいですか。

それではないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 事務進行予定6ページ、7番「中学生と教育委員との懇談会」ということで、次回の教育委員会議後に開催される予定というお話を聞いていますが、どのような感じで進行していくか、ご説明いただければありがたいです。

○川本少年センター長 今のところ市内全中学校6校、男女1名ずつの2名が教育委員会の大会議室で教育委員さんとの懇談という形で予定しています。

前はオンライン開催で、生徒の話聞く時間が多く、委員さんとの懇談という形ではなかったと思いますので、今回は2グループに分けて、各学校から1名と、委員さん4名を2つに分けて、テーマに沿ってお話をする予定です。子どもたちはどう考えているのか、それを聞いて委員さんの率直な意見や委員さんが考えている子どもたちの状況等について感想をいただきたいと思っています。

○丸教育長 ほかによろしいですか。

○蒲田委員 事務進行予定5ページ、4番「第59回我孫子市小学校陸上競技大会」についてです。今まで、小学校は学校のグラウンドを使って実施してきましたが、今回は松山下公園陸上競技場をお借りすることになっているということで、とても広いところで開催出来るのは良いと思いますが、こういった経緯でこういう形になったのか教えてください。

○森谷指導課長 今までは市内の広い会場ということで、湖北台東小学校をお借りしていたのですが、会場校としての負担や各学校の体育主任等の負担もかなりあったこと、小学生も広い競技場で実施できたら良いなということで、競技場に変更しました。

昨年度、初めて白井運動公園陸上競技場で実施したのですが、とても良かったということで、今年も白井運動公園陸上競技場で計画をしていたのですが、同じ場所で中学校の陸上競技大会を実施したときに、写真判定の機材が壊れてしまったため、急遽、松山下公園陸上競技場で行うことになりました。会場が

異なるため、昨年度と異なりますが、学校で行ってきたときよりも広い陸上競技場で実施できることで、学校の負担軽減と子どもたちの意欲も高まると思います。ぜひよろしく願いいたします。

○丸教育長 ほかによろしいですか。

○蒲田委員 感想になるのですが、事務進行予定20ページ、2番「10月のてがたん」の「タケってどんな植物?」、21ページ、5番「工作イベント」でも「竹かごを作ろう!」、また7月の工作イベントでも竹ざるをつくるイベントをされていて、竹を活用したイベントを続けられていることはとても良いと思いました。竹などの資源をうまく活用しようと、鳥の博物館のイベントとすることができるのはとても良いと思いました。

○森田鳥の博物館長 この竹のイベントですが、前回の「たけざるを作ろう」に続いて2回目ということで、現在募集をしているところなのですが、盛況で今回は電話申込ではなく、往復はがきでの申込ということで、沢山のはがきが届いていると伺っています。竹なのですが、ややもすると邪魔で困っているというようなところも多いのですが、そういったものをエコの観点から有効活用するということで、学芸員がこういったイベントを考えて実施しています。好評なので、もう少し参加人数も多くできれば良いなと思います。今後も継続したいと思っています。

○丸教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

---